



アルマ望遠鏡による観測では、ハッブル宇宙望遠鏡では何も見えていない領域(上方の四角)に、塵に深く埋もれた銀河(右上の想像図)を新たに発見

ALMA(ESO/NAOJ/NRAO),NASA/ESA Hubble Space Telescope



サイエンスカフェにて宇宙の塵について解説中

研究テーマは銀河の形成・進化

131億年前の宇宙で「隠れ銀河」発見 想像以上の世界を見せてくれる宇宙に醍醐味

広島大学宇宙科学センター 助教

総合研究大学院大学、米国カリフォルニア工科大学スピッツァー・サイエンス・センターを経て、2015年～18年までフランス国立科学研究センター、リヨン天文物理学研究センター研究員。19年2月から現職。

研究を始めるきっかけ

小学生の頃、科学事典で、宇宙を紹介した写真の美しさに惹かれ、子ども心に「宇宙に関わる仕事がしたい」と思っていました。この頃は宇宙飛行士になりたいと思ったこともありますが、宇宙そのものを理解することに惹かれ、研究者の道を選びました。願っていた夢がかない、今はさらにその先に進もうとしています。

研

日は好き

